

きょうとししょうがいしゃしせつにゆうしょもうしこみしゃちょうさ
京都市障害者施設入所申込者調査
(令和4年度実施)

ほう こく しょ
報 告 書

きょう と し
京 都 市

ほけんふくしきょくしょうがいほけんふくしすいしんしつ
保健福祉局障害保健福祉推進室

1 調査概要

(1) 調査目的

本市では、平成30年3月に京都市障害者施策推進計画、障害福祉計画及び障害児福祉計画の3つの計画を「はぐくみ支え合うまち・京都ほほえみプラン（計画期間：平成30年度～令和5年度）」（以下「ほほえみプラン」という。）として一体的に策定し、令和2年度には中間見直しを行い、障害保健福祉施策の総合的な推進に取り組んでいる。

今般、次期ほほえみプランの策定に向けた障害保健福祉施策の在り方検討の基礎資料とするため、「障害者施設申込者調査」を実施した。

(2) 調査概要

調査期間	令和4年11月1日から令和4年11月30日まで
調査対象者	京都市内に住所を有し、令和4年11月1日時点で施設入所の申し込みをしている方（129人）
調査方法	郵送
回収数	95件（回収率73.6%）

(3) 本書のみかた

- ・ 集計表は標本数（n）を100とした比率（%）で小数点以下第1位まで表示した。なお、端数処理（四捨五入）の関係で100.0%にならない場合があるが、表記上の処理で100.0%と記載している。
また、「複数回答」の合計が100.0%を超えるが、これも端数処理（四捨五入）の関係で、合計欄の値と各選択肢の数値を単純に積み上げた場合の数値とが異なる場合がある。この場合も、表記上の処理で100.0%と記載している。
- ・ 設問の回答肢などの表記については、表記が長くなるため略文で示している場合がある。
- ・ 自由記述の回答の一部について、文意を変えないよう努めたうえで、個人が特定されないような表現や文言統一などの修正を加えている。

2 調査結果

＜基本的事項＞

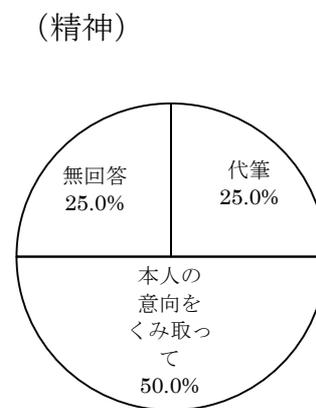
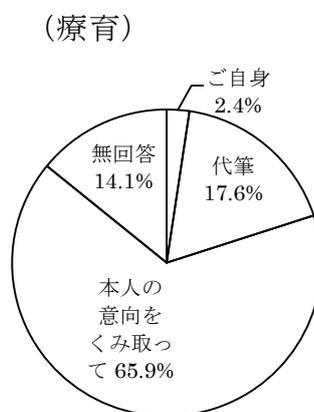
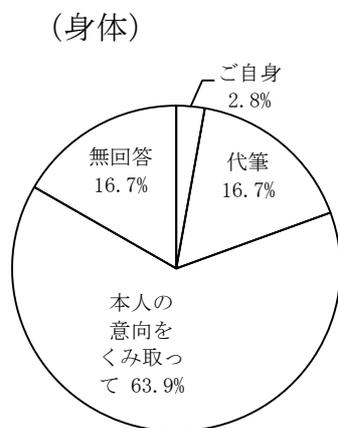
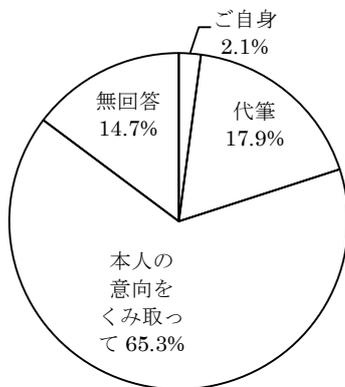
問1 本調査を記入した方について、 <u>当てはまるもの1つに○をつけて</u> ください。	単一回答
---	------

- ・ 「本人以外が、本人の意向をくみ取って記入」が 65.3%と最も多く、「本人以外が、本人の意思を『代筆』」17.9%と、約8割が「本人以外」の記入となっている。
- ・ 身体障害者では、「本人以外が、本人の意向をくみ取って記入」が 63.9%と最も多く、「本人以外が、本人の意思を『代筆』」が 16.7%となっている。
- ・ 知的障害者では、「本人以外が、本人の意向をくみ取って記入」が 65.9%と最も多く、「本人以外が、本人の意思を『代筆』」が 17.6%となっている。
- ・ 精神障害者では、「本人以外が、本人の意向をくみ取って記入」が 50.0%、「本人以外が、本人の意思を『代筆』」が 25.0%となっている。

問1 調査票の記入者

		(身体)	(療育)	(精神)
ご自身	2 (2.1%)	1 (2.8%)	2 (2.4%)	0 (0.0%)
代筆	17 (17.9%)	6 (16.7%)	15 (17.6%)	2 (25.0%)
本人の意向をくみ取って	62 (65.3%)	23 (63.9%)	56 (65.9%)	4 (50.0%)
無回答	14 (14.7%)	6 (16.7%)	12 (14.1%)	2 (25.0%)
合計	95 (100.0%)	36 (100.0%)	85 (100.0%)	8 (100.0%)

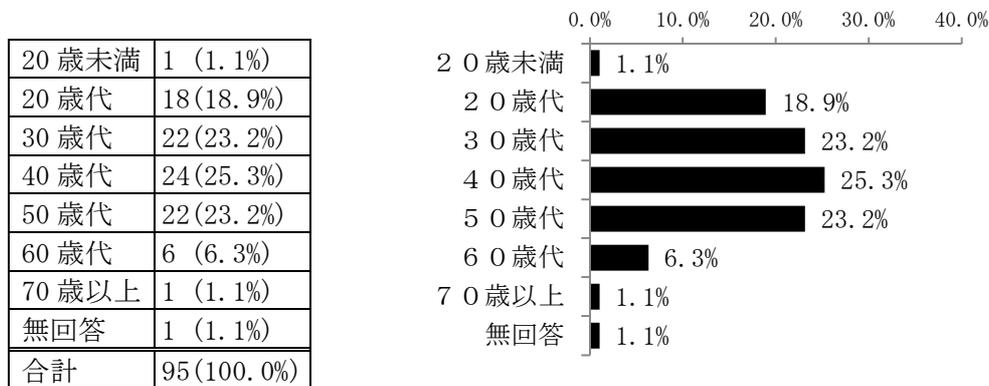
※重複障害の場合は、各々でカウントしている。以下同じ。



問2 あなた（調査の対象となる方）の年齢をお答えください。 （令和4年（2022年）11月1日時点の年齢）	単一回答
--	------

- 「40歳代」が25.3%、「30歳代」と「50歳代」が23.3%、「20歳代」が18.9%と、「20歳代」から「50歳代」に分布しており、全体の約9割を占めている。

問2 年齢



- 身体障害者では、「40歳代」が30.6%と最も多く、「50歳代」が27.8%となっており、合わせて約半数となっている。また、「30歳代」から「60歳代」で、合わせて約9割を占めている。
- 知的障害者は、「30歳代」が25.9%、「40歳代」が24.7%で、「50歳代」が22.4%、「20歳代」が21.2%と、「20歳代」から「50歳代」に分布しており、全体の9割を占めている。
- 精神障害者は、「40歳代」が37.5%、「50歳代」と「60歳代」が25.0%となっており、「40歳代」から「60歳代」で約9割となっている。

(身体)

20歳未満	0 (0.0%)
20歳代	3 (8.3%)
30歳代	7 (19.4%)
40歳代	11 (30.6%)
50歳代	10 (27.8%)
60歳代	5 (13.9%)
70歳以上	0 (0.0%)
無回答	0 (0.0%)
合計	36 (100.0%)

(療育)

20歳未満	1 (1.2%)
20歳代	18 (21.2%)
30歳代	22 (25.9%)
40歳代	21 (24.7%)
50歳代	19 (22.4%)
60歳代	2 (2.4%)
70歳以上	1 (1.2%)
無回答	1 (1.2%)
合計	85 (100.0%)

(精神)

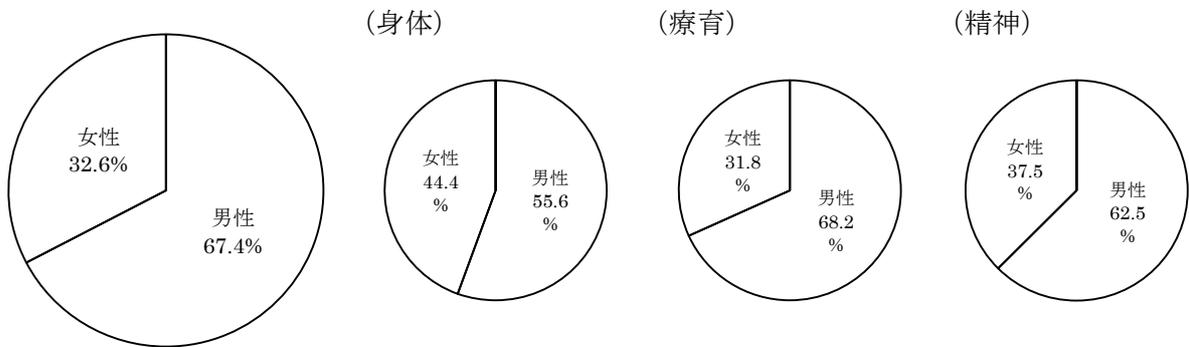
20歳未満	0 (0.0%)
20歳代	1 (12.5%)
30歳代	0 (0.0%)
40歳代	3 (37.5%)
50歳代	2 (25.0%)
60歳代	2 (25.0%)
70歳以上	0 (0.0%)
無回答	0 (0.0%)
合計	8 (100.0%)

問3 あなた（調査の対象となる方）の性別について、当てはまるもの1つに○をつけてください。 単一回答

- ・ 「男性」が67.4%、「女性」が32.6%となっている。
- ・ 身体障害者では、「男性」が55.6%、「女性」が44.4%と約半数ずつとなっている。
- ・ 知的障害者では、「男性」が68.2%、「女性」が31.8%となっている。
- ・ 精神障害者では、「男性」が62.5%、「女性」が37.5%となっている。

問3 性別

		(身体)	(療育)	(精神)
男性	64 (67.4%)	20 (55.6%)	58 (68.2%)	5 (62.5%)
女性	31 (32.6%)	16 (44.4%)	27 (31.8%)	3 (37.5%)
その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
答えたくない	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	95(100.0%)	36(100.0%)	85(100.0%)	8(100.0%)



問4 あなた（調査の対象となる方）はどこにお住まいですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。 単一回答

問4 住まい

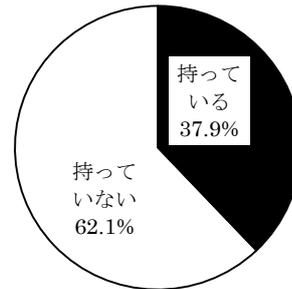
		(身体)	(療育)	(精神)
北区	4 (4.2%)	3 (8.3%)	4 (4.7%)	0 (0.0%)
上京区	4 (4.2%)	1 (2.8%)	4 (4.7%)	0 (0.0%)
左京区	2 (2.1%)	0 (0.0%)	2 (2.4%)	0 (0.0%)
中京区	6 (6.3%)	2 (5.6%)	6 (7.1%)	1 (12.5%)
東山区	1 (1.1%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)
山科区	10 (10.5%)	4 (11.1%)	8 (9.4%)	2 (25.0%)
下京区	2 (2.1%)	1 (2.8%)	2 (2.4%)	0 (0.0%)
南区	7 (7.4%)	3 (8.3%)	6 (7.1%)	1 (12.5%)
右京区	12 (12.6%)	4 (11.1%)	11 (12.9%)	2 (25.0%)
西京区	11 (11.6%)	4 (11.1%)	11 (12.9%)	0 (0.0%)
西京区 (洛西)	11 (11.6%)	4 (11.1%)	9 (10.6%)	1 (12.5%)
伏見区	2 (2.1%)	0 (0.0%)	2 (2.4%)	0 (0.0%)
伏見区 (深草)	5 (5.3%)	1 (2.8%)	5 (5.9%)	0 (0.0%)
伏見区 (醍醐)	17 (17.9%)	9 (25.0%)	13 (15.3%)	1 (12.5%)
不明・無回答	1 (1.1%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)
合計	95(100.0%)	36(100.0%)	85(100.0%)	8(100.0%)

問5 あなた（調査の対象となる方）は、身体障害手帳を持っていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。	単一回答
--	------

- 37.9%が身体障害者手帳を所持している。
- 身体障害者手帳所持者のうち、療育手帳を所持している割合は72.2%となっている。
- 身体障害者手帳所持者のうち、精神障害者保健福祉手帳を所持している割合は13.9%となっている。

問5 身体障害者手帳の所持

持っている	36 (37.9%)
持っていない	59 (62.1%)
合計	95(100.0%)



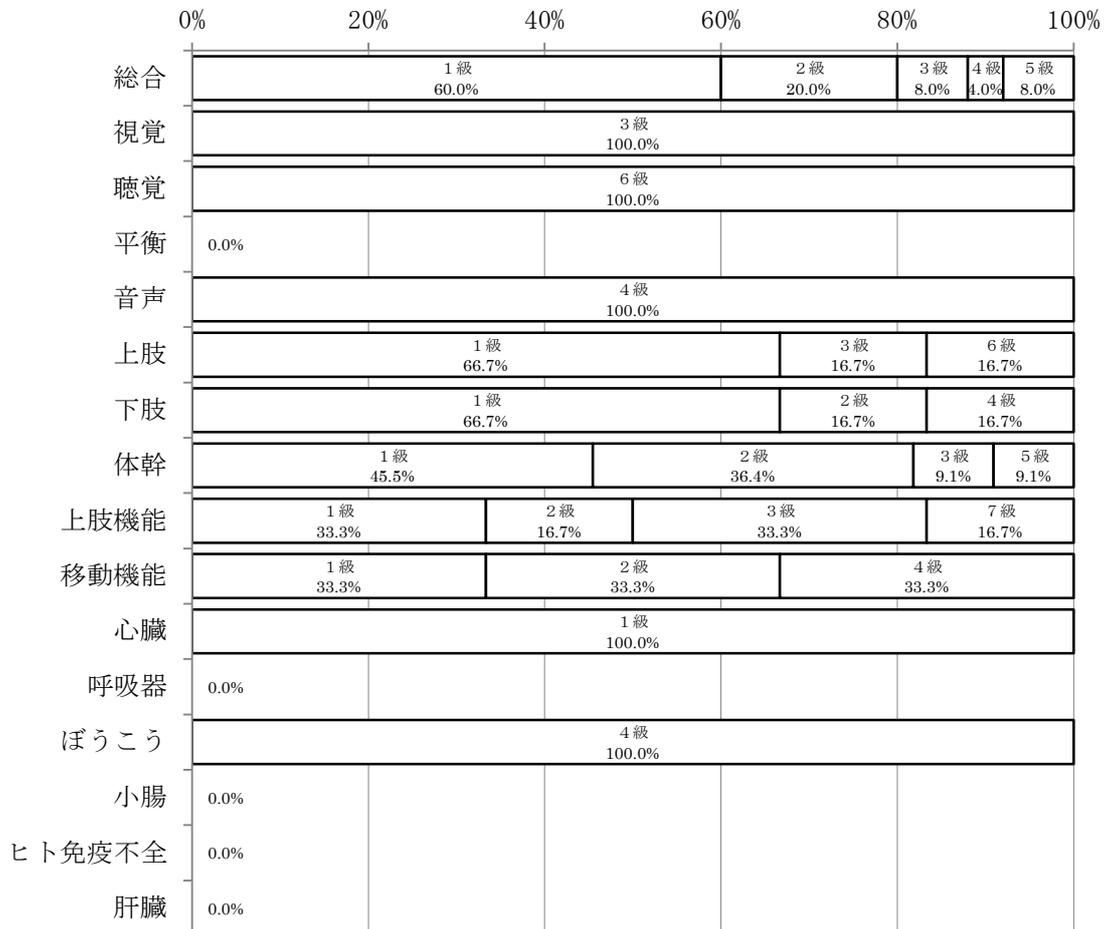
（持っている方の内訳）

身体のみ	7	(19.4%)
身体+療育	24	(66.7%)
身体+精神	3	(8.3%)
身体+療育+精神	2	(5.6%)
合計	36	(100.0%)

問5 (ア) 【「身体障害手帳を持っている」と答えた方】
 あなたの身体障害者手帳の種類・等級について、当てはまるもの
に○をつけてください。 単一回答

問5 (ア) 身体障害者手帳の障害種別と等級

障害の種別	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	合計
総合判定 (手帳に記載された等級)	15 (60.0%)	5 (20.0%)	2 (8.0%)	1 (4.0%)	2 (8.0%)	0 (0.0%)		25 (100.0%)
視覚障害	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)		1 (100.0%)
聴覚障害		0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)		3 (100.0%)		3 (100.0%)
平衡機能障害			0 (0.0%)		0 (0.0%)	0 (0.0%)		0 (0.0%)
音声・言語・そしゃく 機能障害			0 (0.0%)	2 (100.0%)				2 (100.0%)
肢体不自由 (上肢)	4 (66.7%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	6 (100.0%)
肢体不自由 (下肢)	4 (66.7%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (100.0%)
肢体不自由 (体幹)	5 (45.5%)	4 (36.4%)	1 (9.1%)		1 (9.1%)			11 (100.0%)
肢体不自由 (上肢機能障害)	2 (33.3%)	1 (16.7%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	6 (100.0%)
肢体不自由 (移動機能障害)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)
心臓機能障害	1 (100.0%)		0 (0.0%)	0 (0.0%)				1 (100.0%)
呼吸器機能障害	0 (0.0%)		0 (0.0%)	0 (0.0%)				0 (0.0%)
ぼうこう・直腸機能障害	0 (0.0%)		0 (0.0%)	1 (100.0%)				1 (100.0%)
小腸機能障害	0 (0.0%)		0 (0.0%)	0 (0.0%)				0 (0.0%)
ヒト免疫不全ウイルス による免疫機能障害	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)				0 (0.0%)
肝臓機能障害	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)				0 (0.0%)

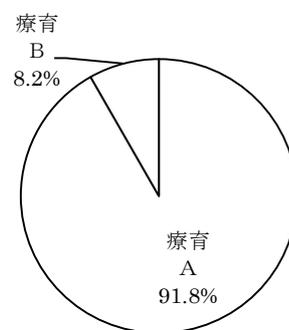
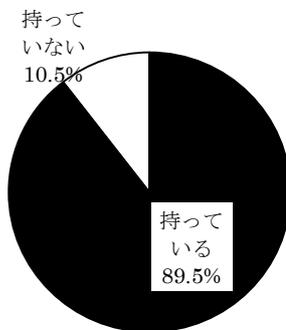


問6 あなた(調査の対象となる方)は、療育手帳を持っていますか。 当てはまるもの1つに○をつけてください。	単一回答
(ア)【「療育手帳を持っている」と答えた方】 あなたの療育手帳の種類・等級について、当てはまるものに○をつけてください。	単一回答

- 89.5%が療育手帳を所持している。
 このうち療育手帳Aを所持している人は91.8%、療育手帳Bを所持している人は8.2%となっている。

問6 療育手帳の所持／(ア) 療育手帳の等級

持っている	85 (89.5%)	療育手帳A	78 (91.8%)
		療育手帳B	7 (8.2%)
持っていない	10 (10.5%)		
合計	95 (100.0%)		



(持っている方の内訳)

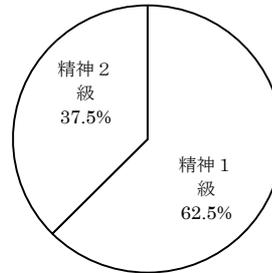
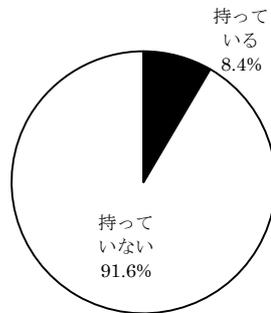
療育のみ	56 (65.9%)	療育手帳A	52 (92.9%)
		療育手帳B	4 (7.1%)
療育+身体	24 (28.2%)	療育手帳A	22 (91.7%)
		療育手帳B	2 (8.3%)
療育+精神	3 (3.5%)	療育手帳A	2 (66.7%)
		療育手帳B	1 (33.3%)
療育+身体+精神	2 (2.4%)	療育手帳A	2 (100.0%)
		療育手帳B	0 (0.0%)

問7 あなた（調査の対象となる方）は、精神障害者保健福祉手帳を持っていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。	単一回答
(ア)【「精神障害者保健福祉手帳を持っている」と答えた方】 あなたの精神障害者保健福祉手帳の種類・等級について、当てはまるもの1つに○をつけてください。	単一回答

- 精神障害者保健福祉手帳所持者は8.4%である。
このうち、1級を所持している人は62.5%、2級を所持している人は37.5%となっている。

問7 精神障害者保健福祉手帳の所持／(ア) 精神障害者保健福祉手帳の等級

持っている	8 (8.4%)	精神障害者保健福祉手帳1級	5(62.5%)
		精神障害者保健福祉手帳2級	3(37.5%)
		精神障害者保健福祉手帳3級	0(0.0%)
持っていない	87 (91.6%)		
合計	95(100.0%)		



(持っている方の内訳)

精神のみ	0 (0.0%)	精神障害者保健福祉手帳1級	0 (0.0%)
		精神障害者保健福祉手帳2級	0 (0.0%)
		精神障害者保健福祉手帳3級	0 (0.0%)
精神+身体	3 (37.5%)	精神障害者保健福祉手帳1級	3 (100.0%)
		精神障害者保健福祉手帳2級	0 (0.0%)
		精神障害者保健福祉手帳3級	0 (0.0%)
精神+療育	0 (0.0%)	精神障害者保健福祉手帳1級	0 (0.0%)
		精神障害者保健福祉手帳2級	0 (0.0%)
		精神障害者保健福祉手帳3級	0 (0.0%)
精神+身体+療育	5 (62.5%)	精神障害者保健福祉手帳1級	2 (40.0%)
		精神障害者保健福祉手帳2級	3 (60.0%)
		精神障害者保健福祉手帳3級	0 (0.0%)

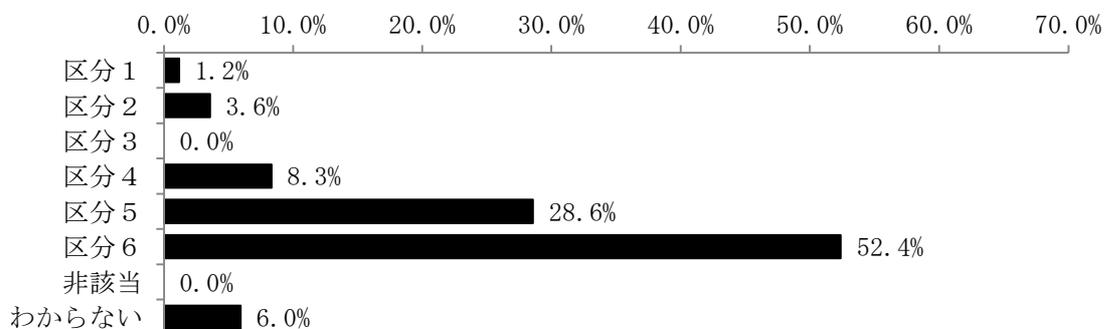
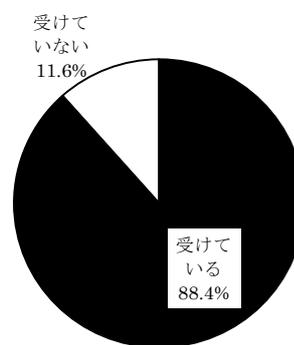
< 障害福祉サービスの利用に関する質問 >

問8 あなた（調査の対象となる方）は、障害支援区分の認定を受けていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。	単一回答
(ア)【障害支援区分の認定を「受けている」と答えた方】 あなたの障害支援区分について、当てはまるもの1つに○をつけてください。	単一回答

- 88.4%が障害支援区分の認定を受けている。
このうち区分6が52.4%と最も多く、区分5が28.6%で、合わせて約8割となっている。

問8 障害区分認定

受けている	84 (88.4%)	区分1	1 (1.2%)
		区分2	3 (3.6%)
		区分3	0 (0.0%)
		区分4	7 (8.3%)
		区分5	24 (28.6%)
		区分6	44 (52.4%)
		非該当	0 (0.0%)
		わからない	5 (6.0%)
受けていない	11 (11.6%)		
合計	95 (100.0%)		

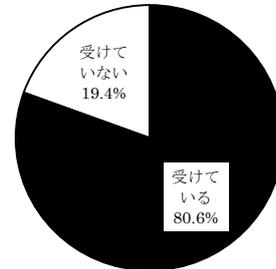


- 身体障害者では、80.6%が障害支援区分の認定を受けている。このうち区分6が55.2%と最も多く、区分5が24.1%で、合わせて約8割となっている。

問8 障害区分認定

(身体)

受けている	29 (80.6%)	区分1	1 (3.4%)
		区分2	0 (0.0%)
		区分3	0 (0.0%)
		区分4	2 (6.9%)
		区分5	7 (24.1%)
		区分6	16 (55.2%)
		非該当	0 (0.0%)
		わからない	3 (10.3%)
受けていない	7 (19.4%)		
合計	36 (100.0%)		

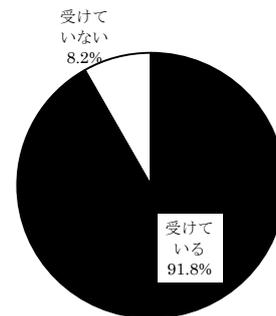


- 知的障害者では、91.8%が障害支援区分の認定を受けている。このうち区分6が51.3%と最も多く、区分5が29.5%で、合わせて約8割となっている。

問8 障害区分認定

(療育)

受けている	78 (91.8%)	区分1	1 (1.3%)
		区分2	3 (3.8%)
		区分3	0 (0.0%)
		区分4	7 (9.0%)
		区分5	23 (29.5%)
		区分6	40 (51.3%)
		非該当	0 (0.0%)
		わからない	4 (5.1%)
受けていない	7 (8.2%)		
合計	85 (100.0%)		

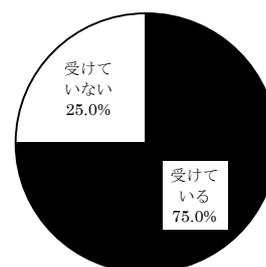


- 精神障害者では、75.0%障害支援区分の認定を受けている。このうち区分6が66.7%と最も多くなっている。

問8 障害区分認定

(精神)

受けている	6 (75.0%)	区分1	0 (0.0%)
		区分2	1 (16.7%)
		区分3	0 (0.0%)
		区分4	0 (0.0%)
		区分5	0 (0.0%)
		区分6	4 (66.7%)
		非該当	0 (0.0%)
		わからない	1 (16.7%)
受けていない	2 (25.0%)		
合計	8 (100.0%)		

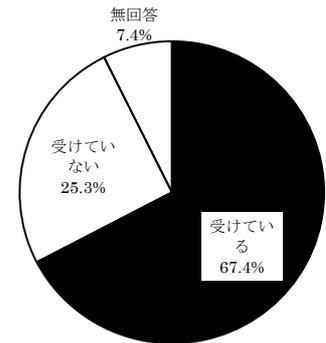


<p>問9 あなた(調査の対象となる方)は計画相談支援の支給決定を受けていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。</p>	単一回答
<p>(ア) 計画相談支援の支給決定を受けていない理由を教えてください。該当するものすべてをお答えください。</p>	複数回答

- 67.4%が計画相談支援の支給決定を受けており、25.3%が受けていない結果となった。受けていない理由としては、「わからない」が41.7%と最も多く、「計画相談支援がどのようなものか知らない」が37.5%で、合わせて約8割となっている。

問9 計画相談支援の支給決定

受けている	64 (67.4%)	受けていない理由 (複数回答)	
受けていない	24 (25.3%)	自分や家族で作成したい	4 (16.7%)
		見つからない	1 (4.2%)
		知らない	9 (37.5%)
		わからない	10 (41.7%)
		その他	1 (4.2%)
無回答	7 (7.4%)		25 (104.2%)
合計	95 (100.0%)		



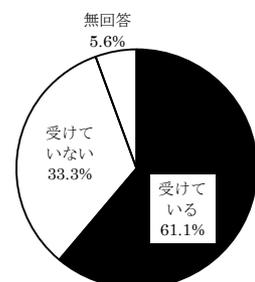
問9 (ア) 支給決定を受けていない理由



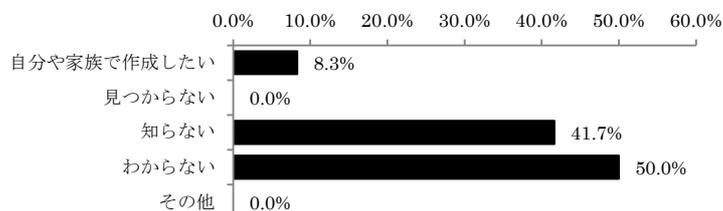
- 身体障害者では、61.1%が計画相談支援の支給決定を受けており、33.3%が受けていない。受けていない理由としては、「わからない」が50.0%と最も多く、「計画相談支援がどのようなものか知らない」が41.7%で、合わせて約9割となっている。

問9 計画相談支援の支給決定

(身体)			
受けている	22 (61.1%)	受けていない理由 (複数回答)	
受けていない	12 (33.3%)	自分や家族で作成したい	1 (8.3%)
		見つからない	0 (0.0%)
		知らない	5 (41.7%)
		わからない	6 (50.0%)
		その他	0 (0.0%)
無回答	2 (5.6%)		12 (100.0%)
合計	36 (100.0%)		



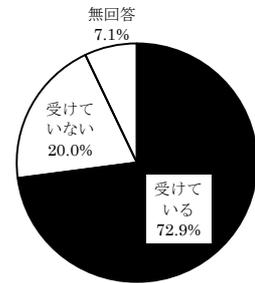
問9 (ア) 支給決定を受けていない理由



- 知的障害者では、72.9%が計画相談支援の支給決定を受けており、20.0%が受けていない。受けていない理由としては、「わからない」が41.2%と最も多く、「計画相談支援がどのようなものか知らない」が35.3%、「自分や家族で作成したい」が17.6%となっている。

問9 計画相談支援の支給決定

(療育)		受けていない理由 (複数回答)	
受けている	62 (72.9%)	自分や家族で作成したい	3 (17.6%)
受けていない	17 (20.0%)	見つからない	1 (5.9%)
		知らない	6 (35.3%)
		わからない	7 (41.2%)
		その他	1 (5.9%)
無回答	6 (7.1%)		18 (105.9%)
合計	85 (100.0%)		



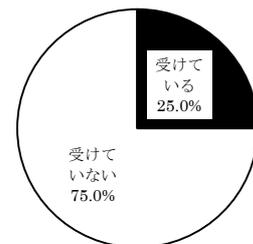
問9 (ア) 支給決定を受けていない理由



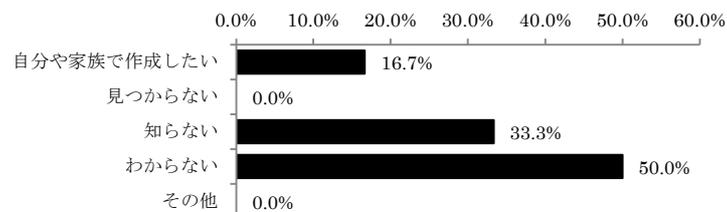
- 精神障害者では、25.0%が計画相談支援の支給決定を受けており、75.0%が受けていない。受けていない理由としては、「わからない」が50.0%と最も多く、「計画相談支援がどのようなものか知らない」が33.3%で合わせて約9割となっている。

問9 計画相談支援の支給決定

(精神)		受けていない理由 (複数回答)	
受けている	2 (25.0%)	自分や家族で作成したい	1 (16.7%)
受けていない	6 (75.0%)	見つからない	0 (0.0%)
		知らない	2 (33.3%)
		わからない	3 (50.0%)
		その他	0 (0.0%)
無回答	0 (0.0%)		6 (100.0%)
合計	8 (100.0%)		



問9 (ア) 支給決定を受けていない理由



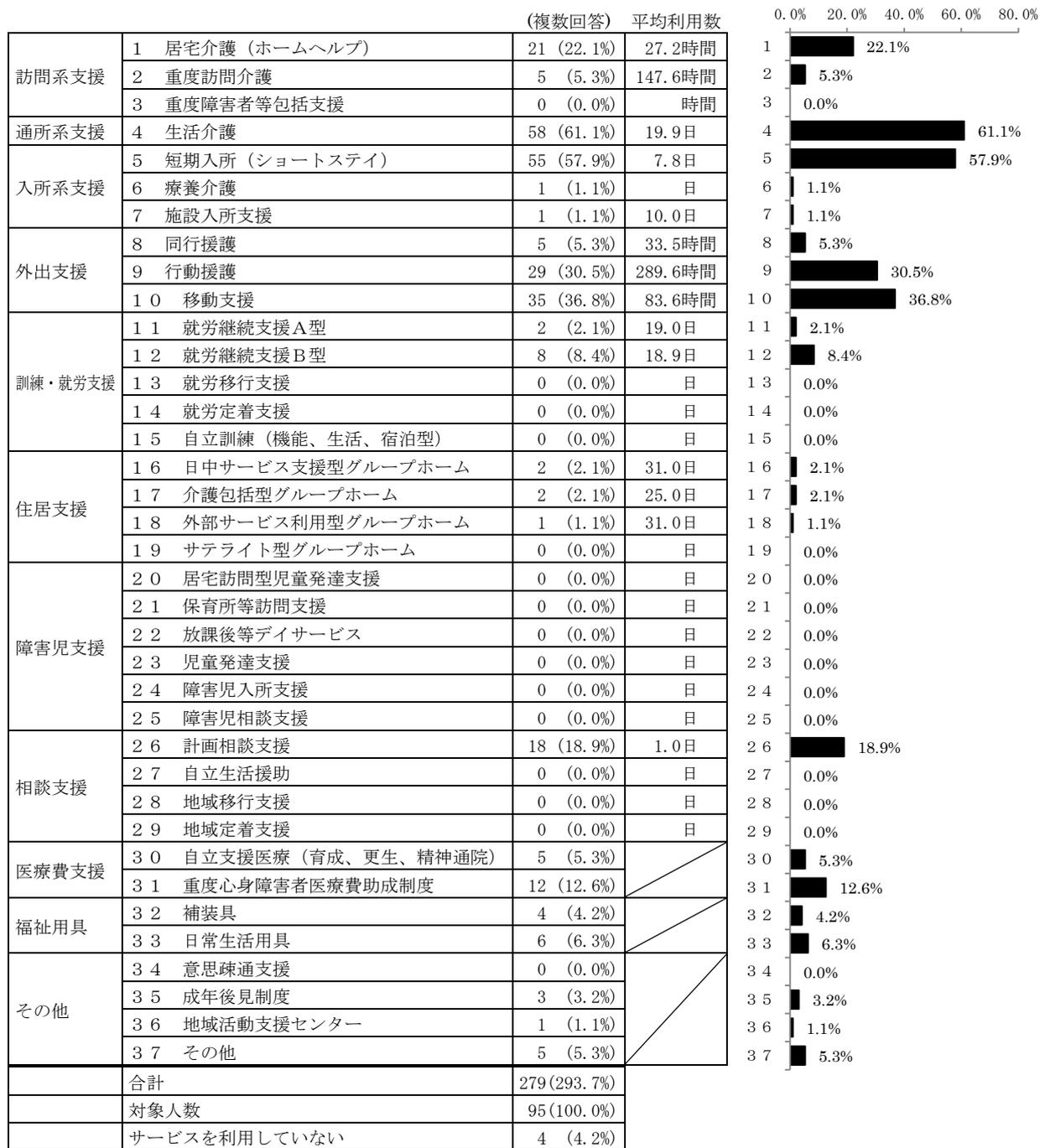
問10 あなた（調査の対象となる方）が、現在利用している障害福祉サービスの種類について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

また、利用している場合、10月の1か月間で何時間または何日利用しましたか。

複数回答

- 「生活介護」を利用している人が61.1%と最も多く、平均利用数は19.9日となっている。
- また、「短期入所（ショートステイ）」を利用している人が57.9%で、平均利用数は7.8日となっている。

問10 現在利用している障害福祉サービスの種類



・ 身体障害者では、「生活介護」を利用している人が 55.6%と最も多く、平均利用数は 20.0 日となっている。

また、「短期入所（ショートステイ）」を利用している人が 50.0%で、平均利用数は 7.4 日となっている。

問 10 現在利用している障害福祉サービスの種類



・ 知的障害者では、「生活介護」を利用している人が 63.5%と最も多く、平均利用数は 20.2 日となっている。

また、「短期入所（ショートステイ）」を利用している人が 60.0%で、平均利用数は 8.1 日となっている。

問 10 現在利用している障害福祉サービスの種類

(療育)		(複数回答)	平均利用数	
訪問系支援	1 居宅介護（ホームヘルプ）	19 (22.4%)	25.1 時間	1 22.4%
	2 重度訪問介護	5 (5.9%)	147.6 時間	2 5.9%
	3 重度障害者等包括支援	0 (0.0%)	時間	3 0.0%
通所系支援	4 生活介護	54 (63.5%)	20.2 日	4 63.5%
入所系支援	5 短期入所（ショートステイ）	51 (60.0%)	8.1 日	5 60.0%
	6 療養介護	1 (1.2%)	日	6 1.2%
	7 施設入所支援	1 (1.2%)	10.0 日	7 1.2%
外出支援	8 同行援護	5 (5.9%)	33.5 時間	8 5.9%
	9 行動援護	28 (32.9%)	277.9 時間	9 32.9%
	10 移動支援	32 (37.6%)	87.5 時間	10 37.6%
訓練・就労支援	11 就労継続支援 A 型	2 (2.4%)	19.0 日	11 2.4%
	12 就労継続支援 B 型	7 (8.2%)	18.2 日	12 8.2%
	13 就労移行支援	0 (0.0%)	日	13 0.0%
	14 就労定着支援	0 (0.0%)	日	14 0.0%
	15 自立訓練（機能、生活、宿泊型）	0 (0.0%)	日	15 0.0%
	16 日中サービス支援型グループホーム	2 (2.4%)	31.0 日	16 2.4%
住居支援	17 介護包括型グループホーム	2 (2.4%)	25.0 日	17 2.4%
	18 外部サービス利用型グループホーム	1 (1.2%)	31.0 日	18 1.2%
	19 サテライト型グループホーム	0 (0.0%)	日	19 0.0%
	20 居宅訪問型児童発達支援	0 (0.0%)	日	20 0.0%
障害児支援	21 保育所等訪問支援	0 (0.0%)	日	21 0.0%
	22 放課後等デイサービス	0 (0.0%)	日	22 0.0%
	23 児童発達支援	0 (0.0%)	日	23 0.0%
	24 障害児入所支援	0 (0.0%)	日	24 0.0%
	25 障害児相談支援	0 (0.0%)	日	25 0.0%
	26 計画相談支援	18 (21.2%)	1.0 日	26 21.2%
相談支援	27 自立生活援助	0 (0.0%)	日	27 0.0%
	28 地域移行支援	0 (0.0%)	日	28 0.0%
	29 地域定着支援	0 (0.0%)	日	29 0.0%
	30 自立支援医療（育成、更生、精神通院）	4 (4.7%)		30 4.7%
医療費支援	31 重度心身障害者医療費助成制度	11 (12.9%)		31 12.9%
	32 補装具	2 (2.4%)		32 2.4%
福祉用具	33 日常生活用具	5 (5.9%)		33 5.9%
	34 意思疎通支援	0 (0.0%)		34 0.0%
その他	35 成年後見制度	3 (3.5%)		35 3.5%
	36 地域活動支援センター	0 (0.0%)		36 0.0%
	37 その他	4 (4.7%)		37 4.7%
		合計	257 (302.4%)	
	対象人数	85 (100.0%)		
	サービスを利用していない	3 (3.5%)		

- 精神障害者では、「短期入所（ショートステイ）」を利用している人が37.5%と最も多く、平均利用数は4.3日となっている。

また、「生活介護」・「移動支援」・「計画相談支援」・「自立支援医療（育成医療、更生医療、精神通院医療）」を利用している人が25.0%となっている。

問10 現在利用している障害福祉サービスの種類



問 1 1 あなた（調査の対象となる方）が、今後利用したい（又は利用回数を増やしたい）障害福祉サービスについて、当てはまるものすべてに○をつけてください。

複数回答

- ・ 52.6%が「短期入所（ショートステイ）」と最も多く、また、外出支援の「同行援護」「行動援護」「移動支援」を合計すると 53.7%が今後利用したいという結果になっている。

問 1 1 今後利用したい障害福祉サービス



- ・ 身体障害者では、44.4%が「短期入所（ショートステイ）」と最も多く、33.3%が「移動支援」を今後利用したいとなっている。

問 1 1 今後利用したい障害福祉サービス



- ・ 知的障害者では、52.9%が「短期入所（ショートステイ）」と最も多く、42.4%が「施設入所支援」を今後利用したいとなっている。

問 1 1 今後利用したい障害福祉サービス



- 精神障害者では、37.5%が「短期入所（ショートステイ）」・「居宅介護（ホームヘルプ）」を今後利用したいとなっている。

問 1 1 今後利用したい障害福祉サービス



<暮らしに関する質問>

<p>問12 あなた（調査の対象となる方）が普段、一緒に一番目に長く過ごしているのは誰ですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。</p>	<p>単一回答</p>
<p>問13 問12で答えた方の年齢をお答えください。当てはまるもの1つに○をつけてください。</p>	<p>単一回答</p>

- 「親」と過ごしている人が88.4%で最も多い。
年代は、「70歳以上」が50.5%、「60歳代」が24.2%、「50歳代」が15.4%と、合わせて50歳代以上が約9割を占めている。

問12 一緒に長く過ごす相手（一番目）

親	84 (88.4%)
配偶者	0 (0.0%)
兄弟・姉妹	5 (5.3%)
子・孫	1 (1.1%)
その他家族・親戚	1 (1.1%)
パートナー（友人や恋人）	0 (0.0%)
いない	4 (4.2%)
合計	95 (100.0%)

問13 問12の年齢

20歳未満	0 (0.0%)
20歳代	0 (0.0%)
30歳代	1 (1.1%)
40歳代	5 (5.5%)
50歳代	14 (15.4%)
60歳代	22 (24.2%)
70歳以上	46 (50.5%)
無回答	3 (3.3%)

- 身体障害者では、「親」と過ごしている人が88.9%で最も多い。
年代は、「70歳以上」が67.6%、「60歳代」が14.7%で、合わせて60歳代以上が約8割を占めている。

問12 一緒に長く過ごす相手（一番目）

(身体)

親	32 (88.9%)
配偶者	0 (0.0%)
兄弟・姉妹	2 (5.6%)
子・孫	0 (0.0%)
その他家族・親戚	0 (0.0%)
パートナー（友人や恋人）	0 (0.0%)
いない	2 (5.6%)
合計	36 (100.0%)

問13 問12の年齢

20歳未満	0 (0.0%)
20歳代	0 (0.0%)
30歳代	0 (0.0%)
40歳代	2 (5.9%)
50歳代	2 (5.9%)
60歳代	5 (14.7%)
70歳以上	23 (67.6%)
無回答	2 (5.9%)

- ・ 知的障害者では、「親」と過ごしている人が 89.4%で最も多い。
年代は、「70 歳以上」が 46.3%、「60 歳代」が 25.6%と、合わせて 60 歳代以上が約 7 割を占めている。

問 1 2 一緒に長く過ごす相手（一番目）

(療育)

親	76 (89.4%)
配偶者	0 (0.0%)
兄弟・姉妹	4 (4.7%)
子・孫	1 (1.2%)
その他家族・親戚	1 (1.2%)
パートナー（友人や恋人）	0 (0.0%)
いない	3 (3.5%)
合計	85(100.0%)

問 1 3 問 1 2 の年齢

20 歳未満	0 (0.0%)
20 歳代	0 (0.0%)
30 歳代	1 (1.2%)
40 歳代	5 (6.1%)
50 歳代	14 (17.1%)
60 歳代	21 (25.6%)
70 歳以上	38 (46.3%)
無回答	3 (3.7%)

- ・ 精神障害者では、「親」と過ごしている人が 75.0%で最も多い。
年代は、71.4%が「70 歳以上」となっている。

問 1 2 一緒に長く過ごす相手（一番目）

(精神)

親	6 (75.0%)
配偶者	0 (0.0%)
兄弟・姉妹	1 (12.5%)
子・孫	0 (0.0%)
その他家族・親戚	0 (0.0%)
パートナー（友人や恋人）	0 (0.0%)
いない	1 (12.5%)
合計	8(100.0%)

問 1 3 問 1 2 の年齢

20 歳未満	0 (0.0%)
20 歳代	0 (0.0%)
30 歳代	0 (0.0%)
40 歳代	0 (0.0%)
50 歳代	2 (28.6%)
60 歳代	0 (0.0%)
70 歳以上	5 (71.4%)
無回答	0 (0.0%)

<p>問14 あなた（調査の対象となる方）が普段、一緒に二番目に長く過ごしているのは誰ですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。</p>	<p>単一回答</p>
<p>問15 問14で答えた方の年齢をお答えください。当てはまるもの1つに○をつけてください。</p>	<p>単一回答</p>

- 二番目に長く過ごすのは「いない」という人が44.2%と最も多い。また、「親」が23.2%、「兄弟・姉妹」が27.4%となっている。年代は「70歳以上」が30.2%と最も多く、「40歳代」と「60歳代」が約15%で、合わせて約8割となる。

問14 一緒に長く過ごす相手（二番目）

親	22 (23.2%)
配偶者	0 (0.0%)
兄弟・姉妹	26 (27.4%)
子・孫	0 (0.0%)
その他家族・親戚	5 (5.3%)
パートナー（友人や恋人）	0 (0.0%)
いない	42 (44.2%)
合計	95(100.0%)

問15 問14の年齢

20歳未満	1 (1.9%)
20歳代	5 (9.4%)
30歳代	6 (11.3%)
40歳代	8 (15.1%)
50歳代	9 (17.0%)
60歳代	8 (15.1%)
70歳以上	16 (30.2%)
無回答	0 (0.0%)

- 身体障害者では、二番目に長く過ごすのは「いない」という人が38.9%と最も多い。また、「親」が30.6%、「兄弟・姉妹」が27.8%となっている。年代は「70歳以上」が40.9%と最も多く、「50歳代」と「60歳代」が13.6%、「40歳代」が22.7%となっている。

問14 一緒に長く過ごす相手（二番目）

(身体)

親	11 (30.6%)
配偶者	0 (0.0%)
兄弟・姉妹	10 (27.8%)
子・孫	0 (0.0%)
その他家族・親戚	1 (2.8%)
パートナー（友人や恋人）	0 (0.0%)
いない	14 (38.9%)
合計	36(100.0%)

問15 問14の年齢

20歳未満	0 (0.0%)
20歳代	2 (9.1%)
30歳代	0 (0.0%)
40歳代	5 (22.7%)
50歳代	3 (13.6%)
60歳代	3 (13.6%)
70歳以上	9 (40.9%)
無回答	0 (0.0%)

- ・ 知的障害者では、二番目に長く過ごすのは「いない」という人が44.7%と最も多い。
また、「親」が22.4%、「兄弟・姉妹」27.1%となっている。
年代は、「70歳以上」が27.7%と最も多く、「50歳代」が17.0%、「20歳代」「60歳代」がそれぞれ14.9%となっている。

問14 一緒に長く過ごす相手（二番目）

(療育)

親	19 (22.4%)
配偶者	0 (0.0%)
兄弟・姉妹	23 (27.1%)
子・孫	0 (0.0%)
その他家族・親戚	5 (5.9%)
パートナー（友人や恋人）	0 (0.0%)
いない	38 (44.7%)
合計	85 (100.0%)

問15 問14の年齢

20歳未満	1 (2.1%)
20歳代	5 (10.6%)
30歳代	6 (12.8%)
40歳代	7 (14.9%)
50歳代	8 (17.0%)
60歳代	7 (14.9%)
70歳以上	13 (27.7%)
無回答	0 (0.0%)

- ・ 精神障害者では、二番目に長く過ごすのは50.0%が「いない」としている。
また、「兄弟・姉妹」が37.5%、「親」が12.5%となっている。

問14 一緒に長く過ごす相手（二番目）

(精神)

親	1 (12.5%)
配偶者	0 (0.0%)
兄弟・姉妹	3 (37.5%)
子・孫	0 (0.0%)
その他家族・親戚	0 (0.0%)
パートナー（友人や恋人）	0 (0.0%)
いない	4 (50.0%)
合計	8 (100.0%)

問15 問14の年齢

20歳未満	0 (0.0%)
20歳代	1 (25.0%)
30歳代	0 (0.0%)
40歳代	1 (25.0%)
50歳代	1 (25.0%)
60歳代	0 (0.0%)
70歳以上	1 (25.0%)
無回答	0 (0.0%)

問16 あなた（調査の対象となる方）の施設入所の申し込みを決めた人はどなたですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。	単一回答
（ア）【「自分以外の人が決めた」と答えた方】 どなたが決めましたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。	単一回答

- ・ 「自分以外の人が決めた」が93.7%となっており、そのうち「親」が決めたが89.9%で最も多い。

問16 施設入所の申し込みを決めた人

自分で決めた	4 (4.2%)		
自分以外	89 (93.7%)	親	80 (89.9%)
		配偶者	0 (0.0%)
		兄弟・姉妹	6 (6.7%)
		子・孫	0 (0.0%)
		その他家族・親戚	1 (1.1%)
		パートナー（友人や恋人）	0 (0.0%)
		後見人	1 (1.1%)
		その他	1 (1.1%)
わからない	2 (2.1%)		
合計	95 (100.0%)		

- ・ 身体障害者では、「自分以外の人が決めた」が88.9%となっており、そのうち「親」が決めたが90.6%で最も多い。

問16 施設入所の申し込みを決めた人

（身体）

自分で決めた	3 (8.3%)		
自分以外	32 (88.9%)	親	29 (90.6%)
		配偶者	0 (0.0%)
		兄弟・姉妹	2 (6.3%)
		子・孫	0 (0.0%)
		その他家族・親戚	0 (0.0%)
		パートナー（友人や恋人）	0 (0.0%)
		後見人	1 (3.1%)
		その他	0 (0.0%)
わからない	1 (2.8%)		
合計	36 (100.0%)		

- ・ 知的障害者では、「自分以外の人が決めた」が 94.1%となっており、そのうち「親」が決めたが 92.5%で最も多い。

問 1 6 施設入所の申し込みを決めた人

(療育)

自分で決めた	3 (3.5%)		
自分以外	80 (94.1%)	親	74 (92.5%)
		配偶者	0 (0.0%)
		兄弟・姉妹	4 (5.0%)
		子・孫	0 (0.0%)
		その他家族・親戚	1 (1.3%)
		パートナー (友人や恋人)	0 (0.0%)
		後見人	0 (0.0%)
		その他	1 (1.3%)
わからない	2 (2.4%)		
合計	85 (100.0%)		

- ・ 精神障害者では、「自分以外の人が決めた」が 87.5%となっており、そのうち「親」が決めたのが 57.1%で最も多く、「兄弟・姉妹」が 28.6%となっている。

問 1 6 施設入所の申し込みを決めた人

(精神)

自分で決めた	1 (12.5%)		
自分以外	7 (87.5%)	親	4 (57.1%)
		配偶者	0 (0.0%)
		兄弟・姉妹	2 (28.6%)
		子・孫	0 (0.0%)
		その他家族・親戚	0 (0.0%)
		パートナー (友人や恋人)	0 (0.0%)
		後見人	1 (14.3%)
		その他	0 (0.0%)
わからない	0 (0.0%)		
合計	8 (100.0%)		

<p>問17 あなた（調査の対象となる方）が施設入所を申し込みしているのはなぜですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。</p>	複数回答
--	------

- ・ 「親亡き後の不安があるから」が 89.5%で最も多く、「在宅で家族からの支援を受けることができないから」が 26.3%となっている。

問17 施設入所を申し込みしている理由

(複数回答)	
1 在宅で家族からの支援を受けることができない	25 (26.3%)
2 家に段差などがあり、暮らしづらい	5 (5.3%)
3 施設で訓練を受けたいという目的があった	8 (8.4%)
4 介護サービスやヘルパー時間数などの見守りが不足	7 (7.4%)
5 グループホームなどの地域地盤が不足	19 (20.0%)
6 親亡き後の不安	85 (89.5%)
7 情報がなく施設以外の手立てがない	11 (11.6%)
8 その他	25 (26.3%)
9 わからない	0 (0.0%)
合計	185(194.7%)
対象人数	95(100.0%)

(8 その他：自由記述)

- ・ 障害者施設に楽しく通っていたが、途中から行かなくなり家での生活も昼夜逆転、乱暴にもなったため
- ・ 強度行動障害により家族だけの支援が困難なため
- ・ 親亡き後の前に親や兄弟の高齢により不安が大きい。また支援も充分ではないため
- ・ 両親が病気で支援が限界に近付きつつあるため
- ・ グループホーム等の世話人がパートのケースがあり障害特性の理解が不十分であるため
- ・ グループホーム等と日中過ごす事業所との連携が不十分であるため
- ・ 父親は80才以上、母は認知症のため、子供の面倒が見られなくなるため
- ・ 両親が高齢者のため
- ・ 親も高齢になり仕事をしながらの介護が大変なため
- ・ 家族との生活リズムの違いのため
- ・ 親の思いであり本人は全く入所を希望していない。親亡き後はどうなるのか不安なため
- ・ 親が高齢で介護が難しくなっているため、親ひとり子ひとりで親亡き後を心配している。
- ・ 親と本人の2人暮らしだが、歩けなくなりいろいろと世話が出来なくなったため
- ・ 家族と暮らす事がしんどいと思う事があるため
- ・ 家で落ち着いた生活を送ることに限界があるため
- ・ グループホームでは、病気などよく帰ってくるため
- ・ 親の病気で支援に不安があるため
- ・ 大きい声を出したり暴れたりするので母親だけの介護は厳しくなっているため
- ・ 親が高齢となり、親自身の介護が必要となり、本人の世話に不安が出て来た

- 身体障害者では、「親亡き後の不安があるから」が86.1%で最も多く、「在宅で家族からの支援を受けることができないから」が27.8%となっている。

問17 施設入所を申し込みしている理由

(身体)	(複数回答)
1 在宅で家族からの支援を受けることができない	10 (27.8%)
2 家に段差などがあり、暮らしづらい	3 (8.3%)
3 施設で訓練を受けたいという目的があった	3 (8.3%)
4 介護サービスやヘルパー時間数などの見守りが不足	4 (11.1%)
5 グループホームなどの地域地盤が不足	7 (19.4%)
6 親亡き後の不安	31 (86.1%)
7 情報がなく施設以外の手立てがない	4 (11.1%)
8 その他	6 (16.7%)
9 わからない	0 (0.0%)
合計	68(188.9%)
対象人数	36(100.0%)

- 知的障害者では、「親亡き後の不安があるから」が90.6%で最も多く、「在宅で家族からの支援を受けることができないから」が24.7%となっている。

問17 施設入所を申し込みしている理由

(療育)	(複数回答)
1 在宅で家族からの支援を受けることができない	21 (24.7%)
2 家に段差などがあり、暮らしづらい	4 (4.7%)
3 施設で訓練を受けたいという目的があった	6 (7.1%)
4 介護サービスやヘルパー時間数などの見守りが不足	6 (7.1%)
5 グループホームなどの地域地盤が不足	18 (21.2%)
6 親亡き後の不安	77 (90.6%)
7 情報がなく施設以外の手立てがない	10 (11.8%)
8 その他	24 (28.2%)
9 わからない	0 (0.0%)
合計	166(195.3%)
対象人数	85(100.0%)

- 精神障害者では、「親亡き後の不安があるから」が100.0%、「在宅で家族からの支援を受けることができないから」が25.0%、「家に段差などがあり暮らしづらいから」・「情報がなく施設以外の手立てがない」が12.5%となっている。

問17 施設入所を申し込みしている理由

(精神)	(複数回答)
1 在宅で家族からの支援を受けることができない	2 (25.0%)
2 家に段差などがあり、暮らしづらい	1 (12.5%)
3 施設で訓練を受けたいという目的があった	0 (0.0%)
4 介護サービスやヘルパー時間数などの見守りが不足	0 (0.0%)
5 グループホームなどの地域地盤が不足	0 (0.0%)
6 親亡き後の不安	8(100.0%)
7 情報がなく施設以外の手立てがない	1 (12.5%)
8 その他	1 (12.5%)
9 わからない	0 (0.0%)
合計	13(162.5%)
対象人数	8(100.0%)

問18 あなた（調査の対象となる方）は、どのようなサービスがあれば、引き続き、地域での生活ができますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。	複数回答
---	------

- ・ 「不安定になった時に、短期入所など緊急時に宿泊できる場所があること」が61.1%で最も多く、「緊急時にヘルパーによる介護が受けられること」が56.8%となっている。

問18 どのようなサービスがあれば地域で生活できるか

(複数回答)

1 ホームヘルプによる身体介護	31 (32.6%)
2 ホームヘルプによる家事援助	30 (31.6%)
3 ホームヘルプによる見守り	35 (36.8%)
4 ホームヘルプによる外出支援	43 (45.3%)
5 グループホームで生活ができる	37 (38.9%)
6 不安定になった時に、短期入所など緊急時に宿泊できる施設	58 (61.1%)
7 地域で相談できる支援者	36 (37.9%)
8 緊急時にヘルパーによる介護	54 (56.8%)
9 その他	21 (22.1%)
合計	345 (363.2%)
対象人数	95 (100.0%)

(その他：自由記述)

- ・ 外出支援について、平日の付き添いもあればいいと思う。
- ・ ヘルパー等の障害特性の理解と障害者本人に合わせた個別の支援力の向上があること。
- ・ グループホームに入所しているが、土日も入所できるような環境があれば本人が快適に過ごせる。
- ・ 24時間日常生活介護が十分に受けられること。
- ・ 自分流の文化・やり方を認めてくれる支援者がいること。
- ・ 親が高齢で介護が必要になった時、障害のある本人と高齢の親と一緒に支援が受けられるケアホームやホームヘルプなど、安心できる場所で生活したい。
- ・ 遠い施設に入所したら親は行くこともできないため、地域のグループホームで土日は帰って自宅で過ごすことができれば、親は子供を見守りながら過ごすことができ、幸せに思う。
- ・ 家の近くに入所施設があることが一番良い。遠いとなかなか行けない、関係が少なくなるため不安。
- ・ 重度障害、難病に関して充分に理解のある職員のいるグループホームがあること。

- ・ 身体障害者では、「緊急時にヘルパーによる介護が受けられること」が 61.1%で最も多く、「不安定になった時に、短期入所など緊急時に宿泊できる場所があること」が 58.3%、「ホームヘルプによる身体介護が十分に受けられること」・「ホームヘルプによる見守りが十分に受けられること」が 52.8%となっている。

問 18 どのようなサービスがあれば地域で生活できるか

(身体)	(複数回答)
1 ホームヘルプによる身体介護	19 (52.8%)
2 ホームヘルプによる家事援助	18 (50.0%)
3 ホームヘルプによる見守り	19 (52.8%)
4 ホームヘルプによる外出支援	17 (47.2%)
5 グループホームで生活ができる	12 (33.3%)
6 不安定になった時に、短期入所など緊急時に宿泊できる施設	21 (58.3%)
7 地域で相談できる支援者	16 (44.4%)
8 緊急時にヘルパーによる介護	22 (61.1%)
9 その他	6 (16.7%)
合計	150(416.7%)
対象人数	36(100.0%)

- ・ 知的障害者では、「不安定になった時に、短期入所など緊急時に宿泊できる場所があること」が 63.5%で最も多く、「緊急時にヘルパーによる介護が受けられること」が 57.6%となっている。

問 18 どのようなサービスがあれば地域で生活できるか

(療育)	(複数回答)
1 ホームヘルプによる身体介護	25 (29.4%)
2 ホームヘルプによる家事援助	22 (25.9%)
3 ホームヘルプによる見守り	28 (32.9%)
4 ホームヘルプによる外出支援	37 (43.5%)
5 グループホームで生活ができる	35 (41.2%)
6 不安定になった時に、短期入所など緊急時に宿泊できる施設	54 (63.5%)
7 地域で相談できる支援者	34 (40.0%)
8 緊急時にヘルパーによる介護	49 (57.6%)
9 その他	19 (22.4%)
合計	303(356.5%)
対象人数	85(100.0%)

- ・ 精神障害者では、「不安定になった時に、短期入所など緊急時に宿泊できる場所があること」が 62.5%で最も多く、「緊急時にヘルパーによる介護が受けられること」が 37.5%となっている。

問 18 どのようなサービスがあれば地域で生活できるか

(精神)	(複数回答)
1 ホームヘルプによる身体介護	2 (25.0%)
2 ホームヘルプによる家事援助	2 (25.0%)
3 ホームヘルプによる見守り	2 (25.0%)
4 ホームヘルプによる外出支援	0 (0.0%)
5 グループホームで生活ができる	0 (0.0%)
6 不安定になった時に、短期入所など緊急時に宿泊できる施設	5 (62.5%)
7 地域で相談できる支援者	2 (25.0%)
8 緊急時にヘルパーによる介護	3 (37.5%)
9 その他	2 (25.0%)
合計	18(225.0%)
対象人数	8(100.0%)